

テクノエイド (中級)研修会

優秀賞

下肢拘縮が強い患者が スライディングボードを使用し 自立移乗できるまで

施設名	佐久総合病院
職場	小海分院4階病棟
氏名	篠原美加

施設概要

医療療養型病棟

★病床数49床

★看護師16名 介護福祉士12名

同町内に診療所、老人保健施設、
2つの特別養護老人ホームがあり、
地域で連携を図り、
退院後の生活を見据えた退院支援を行っている

事例概要と課題

70歳代男性

50歳代で左被殻出血 70歳代で左内頸動脈閉塞による脳梗塞を発症

失語症、右片麻痺、食事以外のADL全介助

右下肢に強い拘縮あり リハビリ、入浴、食事時以外の離床は行っていない

【課題】 ★右下肢の拘縮が強く、臥床時の体勢が悪い

★車椅子への移乗に恐怖心がある

★移乗介助時全身に力が入り突っ張る ⇒ 強引な介助

★自分で動きたい思い、介助に対する恐怖心 ⇒ 介助拒否

課題に対する対策

右下肢の拘縮



坐位をとることで軽減



車椅子移乗前

ベッド上で端坐位

強引な介助 介助拒否



自分で動きたい思いを尊重



スライディングボードを用いた
移乗方法を選択

【マニュアルの作成、スタッフ全員に教示し、周知】

対策実施後の結果

端坐位の時間の確保



坐位保持が安定
拘縮した右下肢を伸ばすことができるようになった

スライディングボードを用いた
移乗方法を選択



自分のペースで次の動作に移ることができるようになった

統一した促しを続けたことで、見守りのみで移乗することができた！

★自分で移れるようになり車椅子移乗の恐怖心が減少、積極的に離床★

退院が決まり、サマリーに移乗方法を記載、マニュアルを同封



退院先でも同様の移乗が継続できるように支援
今後は実際に退院先へ出向いて共有し、より継続した支援に取り組んでいきたい